

パーソナリティ
(CREATIVE OFFICE CUE 所属)

北川 久仁子 氏



1993年ラジオパーソナリティを中心に活動を開始。94年から9年間、鈴井貴之とともにAIR-G「GO・I・S」を担当。現在は、毎週金曜日に7:30~17:30でAIR-G「北川久仁子のbrilliant days×F」で、10時間の生放送を担当している。一児の母として育児をしながら、TV、講演会などにも出演。ナレーターとしても活動している。

対談

物がぼやけて見えたり、目がかすんだりする症状に心当たりはありませんか？ 目の病気の中には、年齢とともに誰にも現れる老化現象のような病気があります。その代表が「白内障」です。症状が進むと、視力が低下し、もやがかかったように視界がぼやけるなど、生活の質が著しく低下します。

この病気の特徴や最新の治療法について、ラジオパーソナリティの北川久仁子さんが、11,000例以上(2011年~19年12月現在)の白内障の手術実績がある札幌かとう眼科(札幌市東区)の加藤祐司理事長・院長に話を聞きました。

加藤 祐司 先生

医療法人社団 彩光会
札幌かとう眼科
理事長・院長



旭川医科大学卒業。旭川医科大学眼科講師・医局長を経て、2011年札幌かとう眼科を開設。15年医療法人社団彩光会理事長に就任。日本眼科学会認定眼科専門医。旭川医科大学客員教授。札幌医科大学眼科非常勤講師。医学博士。

白内障治療の最前線 広がる眼内レンズの選択肢

主に加齢が原因で発症 誰でも起こる「白内障」

北川 「人生100年時代」と言われる今、「100歳まで時間が足りないくらい」というのが私の本音です(笑)。いつまでも好奇心や冒険心を忘れず、いきいきとアクティブに年を重ねていきたいと思っています。

加藤 「百聞は一見にしかず」と言われるように、視覚は人間の五感の中でも重要な働きをしています。趣味や生きがいを「人生100年時代」を有意義に過ごしていくためには、年齢を重ねても健やかな視界を保てるように目の加齢対策も大切です。

手術は10~20分程度 水晶体取り眼内レンズ挿入

北川 年齢を重ねればほとんどの人が白内障にかかるということですね。白内障と分かった場合、どのような治療法があるのでしょうか。

加藤 残念ながら、水晶体の濁りは一度起きたら元に戻りません。濁りの進行を抑える点眼薬、飲み薬もありますが、一定以上進行してしまった場合は、あまり効果は期待できず、使っても徐々に進行してしまいます。

北川 治療の基本は、濁った水晶体を人工の眼内レンズに置き換えるという白内障手術です。

加藤 目を手術するのは、なんだか怖い感じがします。

加藤 大変そうなお手術に感じられるかもしれませんが、白内障手術は全国で年間140万件以上行われており、最も実施件数の多い眼科手術の一つです。手術の技術向上や医療機器の進歩によって、短時間で正確にできるようになり、患者さんの術後の負担は少なくなっています。以前は術後の安静が必要でしたが、今では多くの医療機関で日帰り手術が実施されるようになってきました。必要以上に手術を恐れず、安心して受けてもらいたいと思います。

北川 どのような手術なのか、詳しく説明してください。

加藤 非常に繊細な手術なので顕微鏡下で行います(図2)。点眼薬の後に、水晶体を包む袋に直径5ミリ程度の小さな穴を開け、超音波で濁った水晶体を砕き、吸い取ります。そこに、折りたたんだ人工の眼内レンズを入れて固定します。手術時間は10~20分くらいです。術後の痛みは、ほとんどありません。

北川 想像していたよりも簡単な手術のようでした(笑)。ところで、眼内レンズとはどのようなものですか。

加藤 現在主流となっているのは、アクリル樹脂などの柔らかい材質で作られたものです。柔らかく折れた

北川 まだ若いつもりですが(笑)、ちよとした拍子に目の衰えを感じることも増えてきました。ラジオの原稿や新聞、雑誌など近くの小さな文字が読みにくくなり、以前より目から遠ざけたいと読みにくくなりました。また、近くを見たり遠くを見たり、距離の違うものにピントを合わせるのに時間がかかるようになってきました。

加藤 老眼は、誰にでも訪れる老化現象の一つです。40歳前後から始まり、小さな文字が見えづらく、目が疲れやすくなるなどの症状が現れます。新聞などを、今まで読んでいた距離から少し離すことでよく見えるようであれば、老眼かもしれません。ただし、加齢に伴って起こりやすい

目の病気の中には、目がかすみや目の疲れなど、老眼と似た症状が現れるものがあります。老眼だと思いついて放置していると視力の低下を招いたり、最悪の場合は失明につながるというケースもあるので、軽視しないことが大切です。

北川 加齢とともに加齢がすすむと、視力低下をきたす原因で最も多いのが白内障です。

加藤 昨年、私の母も白内障の手術を受けました。白内障はどのような病気ですか。

加藤 目の機能の中で、カメラのレンズと同じような役割をしている水晶体が濁ってしまう病気です。水晶体は本来透明ですが、なんらかの原因で濁ってくると、カメラでいうフィルム



眼内レンズ、医師と相談 自分に最も合うレンズを

北川 眼内レンズにはどのような種類があるのですか。

加藤 本来の水晶体は両端のチン小帯と毛様体筋の運動によって、近くを見るときには厚く、遠くを見るときには薄くなり、ピント(焦点)を合わせる調節機能があります。しかし、人工の眼内レンズにはその調節機能がありません。そのため眼内レンズは、あらかじめ設定した距離に焦点が合うようになっています。合わせて焦点の数によって大きく3種類に分けられます。

標準的なのは、「近く(中間)」「遠く(遠く)」「1カ所のみ焦点が合う」「単焦点レンズ」です。眼内レンズは進化を続け、「近くと遠く(中間と遠く)など2カ所に焦点が合う」「2焦点レンズ」に続き、最近では「近くと中間と遠く(3カ所に焦点が合う)」「3焦点レンズ」が登場しました。3焦点レンズは老眼になる前の自然な見え方に近いことから「3焦点自然視覚レンズ」とも呼ばれます。

北川 見え方にはどのような違いがあるのでしょうか。

加藤 単焦点レンズは、近くに焦点を合わせると遠くが見えにくく、遠くに焦点を合わせると近くが見づらくなります。焦点の合う距離については比較的はっきり見えますが、焦点の合わない距離を見る時は不鮮明になるため、メガネが必要です。一方、2焦点レンズは、1枚のレンズで近くと遠くの2つの焦点をつくり、近くの焦点は40センチ程度の近距離から60センチ程度の中間距離まで選べます。術後メガネがいらない、といった人もいますが、手元を見る時は老眼鏡が必要という人もいます。最新の3焦点自然視覚レンズは、最新の3焦点自然視覚レンズは、近・中・遠の距離いずれにも焦点が合うため、メガネなしの生活が期待できます(図3)。

にあたる網膜に光がうまく届かなくなり(図1)。初期の段階では「かすんで見える」「ぼやけて見える」という症状が典型的です。屋外でまぶしさを感じたたり、物が二重・三重に見えるたりすることもあります。放置していると、徐々に視力も低下してきます。ただ、症状の感じ方は患者さんによつてさまざまです。段々見えにくくなってきたという人もいれば、例えば、運転免許更新の目の検査の時に初めて気付いたという人もいます。

白内障の原因のほとんどは加齢です。早い人では40歳代から始まり、

図3) 眼内レンズの種類と見え方の違い

単焦点レンズ	2焦点レンズ	3焦点自然視覚レンズ
ある1点の距離に焦点をあわせます。	ある2点の距離に焦点をあわせます。	ある3点の距離に焦点をあわせます。
見る対象との距離によっては眼鏡が必要	老眼になる前の見え方に近い	
〈選択出来る焦点距離〉 ● 遠距離 ● 中距離 ● 近距離	〈選択出来る焦点距離〉 ● 遠距離 - 近距離 ● 遠距離 - 中距離	〈選択出来る焦点距離〉 ● 遠距離 - 中距離 - 近距離
費用 保険適用	費用 選定療養適用	費用 選定療養適用

ただし、2焦点レンズ・3焦点自然視覚レンズの多焦点レンズに共通することですが、構造上、レンズに入った光を複数の焦点に振り分けるため、くさり感や色の鮮やかさは落ちます。また、夜間に街灯や車のライトがぼやける「ハロー」や、まぶしく感じる「グレア」と呼ばれる現象が起こりやすくなります。見え方だけでなく、費用面でも違いがあります。単焦点レンズは公的医療

図1) 白内障の目
網膜
角膜
水晶体
虹彩
硝子体

療保険の対象ですが、多焦点レンズは厚生労働省が定める「選定療養(費用の一部を公的医療保険と併用)の対象となり、多焦点レンズに係る費用は自己負担ですが、それ以外の通常の診療については健康保険から給付を受けることが可能です。

※2020年4月1日より、国内で承認された多焦点眼内レンズに適用のある患者さんは、選定療養対応施設においては白内障手術にかかる費用の自己負担を軽減できる場合があります。

加藤 加齢に伴って起こりやすい目の病気が、白内障のほかにも緑内障や加齢黄斑変性、糖尿病網膜症などたくさんあります。今は目に心配ごとがない人も、40歳を過ぎたら1年に1回は定期検診を受けることをお勧めします。

北川 本日はどうもありがとうございました。

加藤 はい、そうです。患者さんそれぞれそれぞれの眼内レンズの特徴をよく理解した上で、担当医とじっくり相談しながら比較検討し、自身のライフスタイルに合わせて納得してから治療を受けることが大切です。

北川 眼内レンズには、それぞれメリットとデメリットがあるということですね。

